

平成28年度 建設部 方針書

建設部長 渡部 幸伸

1. 部の使命（役割）

「安全で快適な住みよいまちづくり」

暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます

2. 平成28年度における課題（前年度の振り返りから）

- ・雪対策への継続的な取り組み
- ・公共土木施設等の老朽化への対応

3. 平成28年度の『スローガン』

工程管理を意識し、チーム力で業務に取り組もう

4. 年度目標となる方針（目標）

- (1) 雪対策の推進
- (2) 道路・橋りょう等の適正な維持管理と長寿命化
- (3) 地域づくりを活かしたまちづくり

5. 重点取組項目

(1)	項目	雪対策の推進
	取組内容	◇総合雪対策の基本計画の着実な推進 ◇雪国よこて安全安心住宅普及促進事業の実地
(2)	項目	道路・橋りょう等の適正な維持管理と長寿命化
	取組内容	◇流雪溝・消雪パイプ等雪寒施設の予防保全に向けた取組み ◇橋りょう長寿命化と点検業務の着実な推進 ◇街路灯・防犯灯維持経費の縮減(LED化)
(3)	項目	地域づくりを活かしたまちづくり
	取組内容	◇増田地区街なみ環境整備事業の推進 ◇まちなみ景観づくりの促進

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況【現状】

(1) 雪対策の推進

- ・計画のローリングを実施し平成27年度の取組状況を確認
- ・雪国よこて安全安心住宅普及促進事業は、5月から補助申請の受付を開始し、9月末現在131件の申請があり安全で快適な住宅の普及に寄与している

(2) 道路・橋りょう等の適正な維持管理と長寿命化

- ・雪寒施設の現状把握、橋りょう点検385橋、補修設計2橋並びに補修工事2橋実施中
- ・市内に設置している防犯灯のLED化を実施中(約10,300灯)

(3) 地域づくりを活かしたまちづくり

- ・増田地区街なみ環境整備事業において小公園・駐車場・公衆便所を整備中
- ・景観重点地区内で修景助成を7件実施

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

(1) 雪対策の推進

- ・計画の着実な実施を図るため、実施項目の変更・検証を行う
- ・引き続き雪国よこて安全安心住宅普及促進事業の推進を図るとともに、次年度の対応を検討する

(2) 道路・橋りょう等の適正な維持管理と長寿命化

- ・橋りょう点検結果等をもとに、長寿命化に向けた取組みを推進する
- ・道路照明灯などのLED化について検討する

(3) 地域づくりを活かしたまちづくり

- ・施設整備を年度内に確実に終了し、来訪者の利便性の向上に努める
- ・次年度の修景助成に向け周知を図るため、チラシ配布や相談会等を実施する

8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

(1) 雪対策の推進

- ・現総合雪対策基本計画(H25-H29)のアクションプログラムの検証を行い、次期計画策定に備えた確認作業を終えた。29年度から次期計画の策定に着手する。
- ・雪国よこて安全安心住宅普及促進事業は、174件の助成を行い安全で快適な住宅の普及に寄与した。次年度も継続実施する予定であるが、申請件数の少ない木造住宅の耐震診断等への助成についてより利用しやすい制度となるよう検討する。

(2) 道路・橋りょう等の適正な維持管理と長寿命化

- ・雪寒施設の現状把握や橋りょう点検398橋、補修工事6橋並びに補修設計8橋等の実施
- ・街路灯・防犯灯(100W以下)のLED化作業が終了し維持経費の縮減を図ることができた。次年度は、町内会等設置防犯灯のLED化を実施する。

(3) 地域づくりを活かしたまちづくり

- ・増田地区街なみ環境整備事業において、清真苑のリニューアルを行い小公園の整備と隣接に公衆便所並びに駐車場が完成。
また、現在コミュニティ라운ジの改修、道路の美装化工事などに着手しており来訪者の利便性の向上と景観に配慮した環境整備が進められている。
- ・景観重点地区(羽黒町・上内町地区、増田地区)において、8件の修景助成を実施。今後もチラシ配布や相談会等を行い、助成制度の周知を図り景観重点地区の良好な景観づくりを進めていく。